

第1回

親子ボランティア体験に参加して

小学6年生

私は、障害のある方をたくさん見かけたことがあります。でも見ているだけでは、どんな感じなのか、どんな気持ちになるのかが分かりませんでした。しかし、今日の体験やお話で障害のある方の気持ちが少しだけでも分かった気がします。

この体験は、どんなところでも使えることばかりでした。だから、もし障害のある方がいたら、優しく声をかけてあげたいです。でも、兼氏先生のお話であった「障害のある方だけでなく、こまっている人や悲しくて泣いている人にも声をかける」という言葉を聞いて、私もそうしようと思いました。

こんな機会があってとてもうれしかったです。これからこの活動を続けてほしいです。今日は、色々な体験させていただきありがとうございました。

保護者

障害のある方に接する時に心構えのような気持ちがありました。でも、気を張ることはないのだと感じました。「ゆずりあい・たすけあい・ささえあい」この3つの愛を持っていれば、みんな笑顔になれるということが印象に残りました。

親子ボランティア体験はこれからも続けてほしいです。親子で福祉を体験することで、親子で福祉のことを考えたり、話し合ったりできるので、とても有意義な時間が過ごせたと思います。時間があっという間に過ぎました。また、このような企画があったら是非、親子で参加したいと思います。

本日は、本当にありがとうございました。

平成28年10月8日(土)、10月15日(土)に、第1回親子ボランティア体験を開催しました。福祉施設での施設体験コースに15組32名、手話、点字、盲導犬、車イスの福祉体験コースに7組14名が参加しました。親子で福祉について一緒に考える良い機会となりました。



施設体験コース



福祉体験コース



車イス体験



手話体験